

2023 年 8 月 2 日

東洋インキ SC ホールディングス株式会社

## バイオテクノロジー企業 VLP セラピューティクスへの出資について

東洋インキ SC ホールディングス株式会社(代表取締役社長 高島 悟、東京都中央区)は、この度マラリア、デング熱、がんなどのワクチンを研究開発する米国バイオテクノロジー企業 VLP Therapeutics, Inc.(CEO 赤畑 渉、米国メリーランド州ゲイサースバーグ、以下「VLPT 社」)及び同社のグループ会社である VLP Therapeutics Japan 株式会社(以下「VLPT ジャパン社」)と出資契約を締結いたしました。

VLPT 社は 2013 年、従来のワクチン療法を一変する革新的な治療法の開発を目的に、当時アメリカ国立衛生研究所ワクチン研究センターで研究開発を行っていた赤畑渉氏によって設立されました。VLP(ウイルス様粒子)<sup>※1</sup>やレプリコン(次世代 mRNA)技術<sup>※2</sup>などの基盤技術を元に、がん治療ワクチンとマラリア、デング熱等感染症の予防ワクチンの研究開発を進めています。VLPT ジャパン社は VLPT 社の基盤技術を用いて新型コロナウイルス感染症(Covid-19)等ワクチンの研究開発に取り組んでいます。

東洋インキグループはライフサイエンスを重点開発領域の一つに定め、2016 年に貼付型医薬品事業に参入したほか、バイオサイエンス用ポリマーやイメージング用蛍光プローブ色素などのバイオサイエンス製品「Sciforium<sup>®</sup> シリーズ」の開発を進めるなど、バイオ・メディカル関連事業の拡大に取り組んでいます。VLPT 社とは 2023 年より研究員 2 名を派遣しワクチン開発の支援を行うほか、VLPT ジャパン社が計画している治験用ワクチン製造拠点(福岡県久留米市、2024 年稼働予定)の早期立ち上げ支援のため今年 7 月より研究員 1 名を派遣するなど、関係強化を進めてまいりました。

東洋インキグループは VLPT 社及び VLPT ジャパン社への出資を通じて、同社の様々な事業運営をサポートし、ワクチン開発のさらなる進展と実用化に向けた治験サイクルの加速に寄与するとともに、当社グループのバイオ関連製品分野における協業の可能性を議論してまいります。東洋インキグループは人々の生活を豊かで健やかにする製品やソリューション創出へ挑戦し、ライフサイエンス領域において社会課題の解決に貢献してまいります。

### VLPT 社・VLPT ジャパン社の概要

会社名	VLP Therapeutics, Inc.
本店所在地	米国メリーランド州ゲイサースバーグ
代表者の役職・氏名	CEO 赤畑 渉
設立	2013 年
主な事業内容	がん治療ワクチン及びマラリア・デング熱等感染症ワクチンの研究開発
ウェブサイト	<a href="https://vlptherapeutics.com/">https://vlptherapeutics.com/</a>

会社名	VLP Therapeutics Japan 株式会社
本店所在地	東京都港区
代表者の役職・氏名	代表取締役 赤畑 渉
設立	2020 年
主な事業内容	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 等ワクチンの研究開発
ウェブサイト	<a href="https://vlptherapeutics.co.jp/">https://vlptherapeutics.co.jp/</a>

※1 VLP : Virus Like Particles (ウイルス様粒子) の略称。感染性のある遺伝物質を含まないウイルス粒子で、ワクチンとして使用するとウイルスに由来する副反応を引き起こすことなく、強い免疫反応を誘発できる。

※2 レプリコン(次世代 mRNA)技術: 自己増殖型の mRNA(メッセンジャーRNA)で、ワクチンとして使用すると接種量を現行の mRNA ワクチンの 10~100 分の 1 程度に抑えることができることから、より短期間で多くの人口をカバーするワクチンを生産できるほか副反応の低減が期待される。

以上

<b>本件に関するお問い合わせ</b>
東洋インキ SC ホールディングス株式会社 グループ広報室 TEL: 03-3272-5720 MAIL: <a href="mailto:info@toyoinkgroup.com">info@toyoinkgroup.com</a>